

令和7年10月17日（金）

竹田市立竹田南部中学校 秋田 優作先生の授業です。

授業の単元は、第1学年「方程式」。係数に小数を含む方程式について、等式の性質をもとにして、効率よく解く方法を考察する場面です。

導入では、かっこを含む方程式の解き方など前時までの復習を丁寧に行うとともに、解法の流れを黒板に掲示するなどし、「努力を要する状況」の生徒への手立ての工夫がなされていました。生徒への声掛けもゆっくり、丁寧に行われており、一人一人が取り組むべきことを把握した上で、授業が展開されていきました。

また、係数に小数を含む方程式を解かせ、計算が大変であるなど困難さを実感させた上で、効率よく解く方法について、考えさせていきました。まずは、個人で考え、グループで説明し合い、自らの考えを確かなものにするなどし、本時で育成する資質・能力の確実な定着に向けた取り組みがなされていました。

生徒が発表する際に、「まず」や「次に」などの言葉を用いるなど、他者を意識した説明がなされるなど、表現力を高める工夫が様々な教育活動の中で行われているのだと感じられました。

事後研には、教頭先生、校内数学教員、拠点校指導教員等が参加し、初任者である秋田先生の授業での困り等をもとに協議を行い、振り返りの場面では、生徒に視点与えることの必要性について、数学教員向けワンポイント動画「「振り返り」の充実に向けて」を活用するなどして確認しました。多くの先生から秋田先生の6ヶ月間の成長が語られるなど、校内における組織的な人材育成が行われている様子が感じられました。

ぜひ、今後も、今回の巡回指導を自ら希望したという積極的な姿勢をもち続け、これからの教育活動に意欲的に取り組み、指導力を伸ばしてほしいと思います。

